



12・1月号
2016 vol.212

communication × voluntary

普段着のわたし、ステキにいいこと

30周年

OCVAC 開設 30 周年記念事業
詳細決定!!

あんなん こんなん
誰でもできるでボランティア
～情報と連携で社会参加を!～

- 04 学生のボランティア活動
- 07 協働 子どもたちに豊かな放課後を
- 10 大阪市市民活動総合ポータルサイト
がオープンしました!
- 15 情報マーケット
ボランティア募集、イベント・セミナー・
講座情報、助成金などの情報
- 18 社会貢献トピックス

複数の主体がそれぞれの得意分野で、知恵や工夫を出しあってひとつの目標や課題に向かって歩んでいく“協働”の活動を紹介します。

協働 子どもたちに豊かな放課後を

特定非営利活動法人 Warabe Z 株式会社イー・ラーニング研究所

夕方、「ただいま!」とランドセルと背負った子どもたちが、市立鶴見小学校の東側に建つ一軒屋に帰ってきました。特定営利活動法人 Warabe(わらべ)の前身となる「わらべ学童保育所」は、1986(昭和61)年から父母と指導員が力を合わせて共同運営をしてきました。代表の猿渡太さんは、父母の「安心して働きたい」という思いと「子どもたちに色々な経験をさせたい」という願いを受け、子どもたちが放課後、安心して楽しく過ごせる居場所づくりをしています。キャンプや野菜の収穫、アニメーション制作など魅力的な活動を行っています。また子どもの特性に合わせICT(※1)を取り入れた効果的な学習方法がないか模索していました。



子どもたちの第2のホーム

は児童の教育格差をなくすため2008(平成20)年から社会貢献活動を続けています。社長室 土居和生さんがわらべを訪問した日、子どもたちは



はすぐに操作1台のタブレットを囲む子どもたち。友だちと一緒に盛り上がりますに慣れ「別ののやってみよう?」「恋の英会話やってみよう!」と自ら学習しようとする意欲を見せ、驚くほどの集中力を発揮。今後はeラーニング(※2)を取り入れた学習を開始する予定です。この新たな学習方法がどう定着していくか可能性は広がります。

用語解説

- ※1 ICTとは、Information and Communication Technologyの略で、日本ではすでに一般的となったITの概念をさらに一歩進め、情報技術に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉。
- ※2 e-ラーニングとは、electronic learningの略で、情報技術を用いて行う学習(学び)のこと